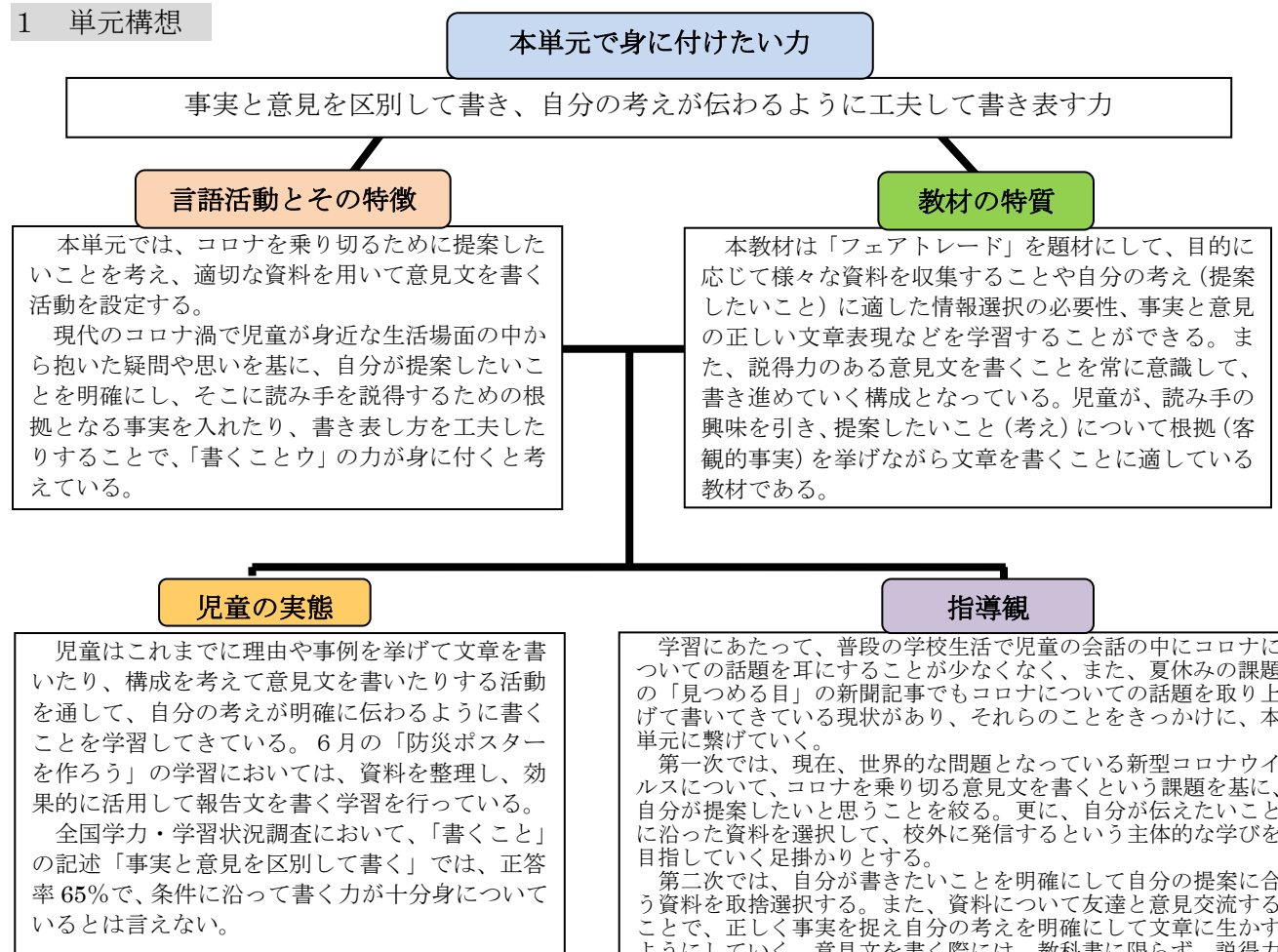


1 単元構想



2 単元の目標及び単元の評価規準

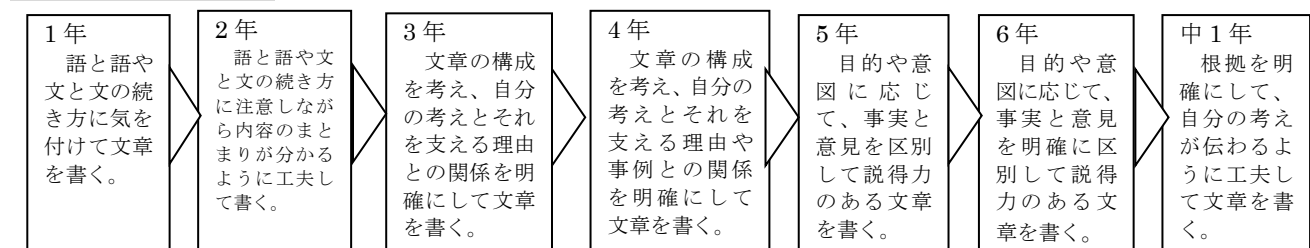
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにすることができる。(1)オ	「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と意見を区別して書き、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。Bウ	言葉が持つよさを確認するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ	「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と意見を区別して書き、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。Bウ	学習課題を明確にし、粘り強く文章構成を考え、学習の見通しをもって説得力のある意見文を書こうとしている。(意見文を書くために適切な資料を選び、自分の考えをより効果的に伝える言葉を選んで表現しようとしている。)

3 単元の系統性



4 研究主題に迫る手立て

研究主題：目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方
—文章の種類や特徴に応じた書き表し方の工夫—

- 説得力のある意見文を書くことを目指して、自分の考え(提案したいこと)を持ち、様々な資料についてグループで意見を交流することで、根拠を挙げて事実と意見を書くことができるようにする。
- 読み手により具体的にイメージしてもらうために「言葉の宝箱」を活用したり、思いの強さを文末表現の違いで表したりして言葉を吟味し、効果的に書き表すことができるようにする。

5 学習の流れ

学習過程	主な学習内容及び学習活動	【 】評価規準・○指導上の留意点	言語活動	言葉による見方・考え方の成長
学習目的の理解と見通し	<p>① コロナ禍でも自分たちの生活を良いものにするための意見文を書くという学習課題をつかみ、単元の学習の見通しを立て、自分が提案したいことを決める。</p> <p>② 自分が提案したいことと考えた理由を交流し、必要な情報を収集する手段を考える。</p>	<p>○ 新聞記事や見つめる目等を基にコロナウイルスに関して課題だと感じたことや考えたことから提案したいことの考えを持たせる。【主】</p> <p>○ 提案したいことに適した資料を選択するために、意見文の中での使われ方を考えさせる。</p>	コロナを乗り切るために提案したいことを考え、適切な資料を用いて意見文を書く。	<p>マスクから鼻が出ている場合と出していない場合を比較して書きたいな。</p> <p>マスクを正しく着用することで、感染が80%も減になることが書かれている。この数値を書くとき必要性を分かってもらえるな。</p>
理解と表現の螺旋的な学び	<p>③ 教材文で提案したいことに応じた資料選択について確認し、収集した資料から分かる情報を付箋に書く。意見交流しながら、適切な資料を選択する。</p> <p>④ メモを基に構成を考え、自分の提案する文章の序論を書く。</p> <p>⑤ 様々なテキストを使い、提案に使えるような言葉を集め、自分たちでまとめながら言葉や表現の工夫、文末表現について探る。</p> <p>⑥⑦ 2時間以下書きを仕上げる見通しを持ち、構成メモに基づいて意見文の下書きを書く。書いた意見文を構成メモに沿って友達と見直ししながら個人の進み具合に応じて計画的に書いていく。 本時6/9</p>	<p>○ 資料についてグループで意見交流することで提案したいことに適した情報を選択させる。</p> <p>○ 自分の考えとその根拠となる事実を付箋に書きながら文章構成を考える。根拠の挙げ方について比較しながら効果的な構成を考えさせる。</p> <p>○ 説得力のある文章を書くための表現方法を吟味し、語彙を増やす。 【知・技(1)オ】</p> <p>○ 提案したいことを裏付ける情報(具体的数値や専門家の言葉など)と自分の考えを意識して、説得力のある文章を書かせる。【思・判・表Bウ】</p>	コロナを乗り切るために提案したいことを考え、適切な資料を用いて意見文を書く。	<p>どの順序で書くと読み手を説得できるかな。構成メモを並べ替えて読み手の立場で考えてみよう。</p> <p>資料には28%と書いていたから、100人いたとしたら28人と言い換えても、イメージしやすいかな。</p> <p>「～ことができる。」より「～ことができるはずである。」の方が私の考えたことを強調できるな。</p>
表現活動・単元の振り返り	<p>⑧ 意見文を書く時のポイントに沿って推敲し清書する。</p> <p>⑨ 友達と意見文を読み、感想を伝え合い、単元の学習を振り返る。</p>	<p>○ 説得力のある意見文を目指して、様々な要素を取り入れながら書いた文章をホームページで発信することで、書くことへの意欲を高めさせる。【主】</p>	コロナを乗り切るために提案したいことを考え、適切な資料を用いて意見文を書く。	<p>事実と意見を区別して書けているかな。自分の提案と資料が合っているかな。</p> <p>この、資料と言葉にこだわって書いたばかりの意見文を読んで、行動に移してほしいな。</p>
<p>本単元終了時の目指す児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的に応じて集めた資料を比較し、必要な情報を検討する姿。 ○ 自分の考えが伝わるように構成を考えたり、表現を工夫したりして文章を書こうとする姿。 				

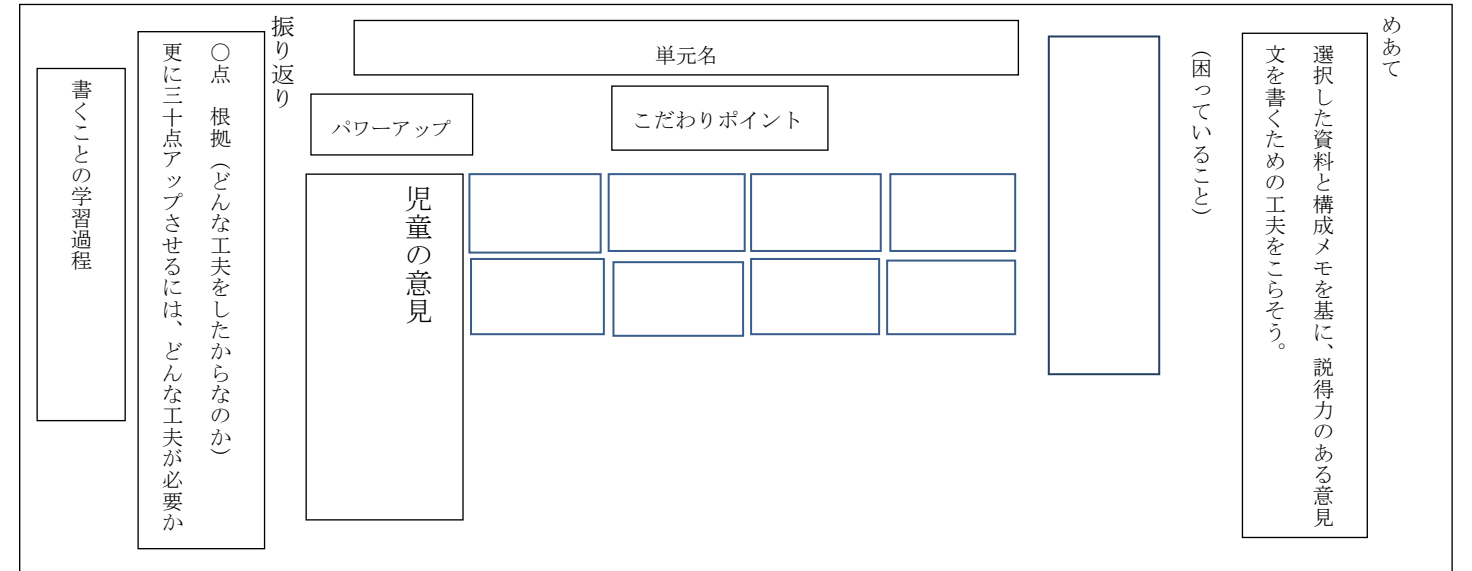
(1) 目標

資料と構成メモを基に、事実と考えを明確にしなが説得力のある意見文を書くことができる。

(2) 展開

学習過程	学習内容及び学習活動	主な発問 (※) 予想される児童の反応 (○)	指導上の留意点 (●) 評価規準及び評価方法 (☆)
学習目的の理解	1. 単元のゴールを共有し、これまでの学習を基に意見文に必要なポイントを確認する。 2. めあてを確認する。		●説得力のある文章を書くために必要なポイントを確認する。
内容の検討	3. 自分の工夫のポイントをグループで話し合う。(グループ)	めあて 選択した資料と構成メモを基に、説得力のある意見文を書くための工夫をこらそう。	●構成メモや資料を基に、自分の考えをどのように意見文を書いていくか伝え合わせる。
	4. 各自のめあてに向かって、アドバイスし合いながら文章を書き進める。(個人・ペアなど)	※下書きを書く上で困っていることは何ですか。 ○手洗いの効果を表す数値を使おうと思うけど、どうかな。 ○構成メモを作ってみたけど、文章にどう書いたらいいのかな。 ※自分のこだわりポイントに向けて、グループでアドバイスし合ひましょう。 ○構成メモを修正したいから加筆することから始めなければ… ○読み手がより分かりやすい数値に書き変えよう。 ○意見文を読む相手の事を考えて、どんな書き方があるのか友達に聞いてみよう。 ○説得の工夫を取り入れて、事実と自分の考えは区別して書くのだったね。 ○相手を納得させられる効果的な構成を考えよう。	●教科書のモデル文や構成メモを基に、自分が伝えたいことをどのように書くのか確認しながら考えさせる。 ●「言葉の宝箱」等を参照しながら書くことを助言する。 ●自分のこだわりポイントを伝えながら対話し、友だちのアドバイスから考えを広げる。
推敲	・資料の読み取り ・構成メモの修正 ・語彙集の活用 ・言葉の吟味など (全体)	※説得力をさらにパワーアップさせるために、もらったアドバイスはどんなことでしたか。 ○資料には「28%」と書いていた。それは100人いたら28人という言い換えもできると言ってもらった。 ○「~ことができる。」より「~ことができるはずである。」の方が、提案したいことを強調できると文末表現のアドバイスをもらった。	☆客観的事実を用いて、意見と区別して、文章に書き表している。 【思・判・表Bウ】 (発言・意見文)
振り返り	5. 振り返り	○私は○点になりました。それは、自分の伝えたいことに対して、○○を使うことができたからです。次の時間30点アップさせるために「△△」を使うことで自分の考えがよりはっきり伝わると思っています。	●この時間に工夫した内容、さらによりよくするために、次時にする工夫について書くようにさせる。

(3) 板書計画



(4) 準備物

ホワイトボード、構成メモ、資料

言語活動のモデル

